

消防ポンプ自動車（CD－I型）仕様書

1. 総 則

- (1) 本仕様書は南部町において、令和7年度に購入する消防ポンプ自動車CD－I型（4WD）1台について適用する。
- (2) 本仕様書に変更を必要とするとき、または不明な点については発注者に連絡のうえ承認を得ること。
なお、承認を得た事項は本仕様書の追補とする。また、承認図の提出以降の変更は原則として認めないものとする。
- (3) 製作は、本仕様書によるもののほか、国が示す「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」（昭和61年自治省令第24号）、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱及び消防ポンプ自動車の安全基準並びに関係法令等に適合または準ずるものとし、緊急自動車として承認が得られ、かつ、日本消防検定協会の受託試験に合格したものであること。また、車両は「消防ポンプ自動車の安全基準」に適合するものとし、品質管理のISO9001、ISO14001認証取得工場で製造すること。
- (4) 受注者は、納入するまでの間において発生した、すべての事故について責任を負うものであること。
- (5) 製作に使用する材料は緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱に規定する材料、またはこれと同等以上の強度及び耐久性を有するものとし、全て新規製品であること。
- (6) 車体は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであること。
- (7) 受注者は、車両及び資機材に修理、点検等の必要が生じた場合、県内に所在する代理店等により迅速に対処できるものであること。
- (8) 契約期間を厳守し延納等の生じないよう工程を設定し、納入後は当町で指定する時期に操作取り扱いの技術指導を行うこと。

2. 概 要

消防ポンプ自動車CD－I型（4WD）は「道路運送車両法」（昭和26年法律第185号）及び「道路運送車両の保安基準」（昭和26年運輸省令第67号）に適合し、緊急自動車として承認が得られるもので、日本消防検定協会に合格したものであること。

3. 製作前の提出書類

受注者は、仕様内容について発注者と十分協議のうえ、次の図書を編集し、製作に着手すること。図書については2部提出すること。

なお、承認図書に明記されていない艤装等については、十分協議すること。

- (1) 主要諸元表
- (2) 外観四面図
- (3) 艀装図
- (4) 車体構造図
- (5) シャシ二面図
- (6) シャシ諸元図
- (7) キャブ内図面（オーバーヘッド図）
- (8) ポンプ装置及び配管図
- (9) ポンプ配管系統図
- (10) ボックス内配置図
- (11) 電気配線図
- (12) 改造自動車計算図
- (13) 取り付け品、付属品一覧表
- (14) 使用材料明細書
- (15) 製作工程表
- (16) その他発注者で指定するもの

4. 納入時の提出書類

車両納入時に、次の図書を編集して発注者に提出すること。

図書については2部提出すること。

- (1) 完成外観図
- (2) ポンプ性能試験成績表
- (3) シャシ検査表
- (4) 自己認証表示版及び日本消防検定協会鑑定板の写し
- (5) 取扱説明書及び整備図書（1部は簡易版可）
- (6) 緊急自動車登録後の車両前後、左右、左右斜め前方及び上方からの全景のカラー写真（ネガ、CD等を含む）
- (7) 製作工程ごとの写真
- (8) 保証書（1部は写し）
- (9) その他発注者で指示するもの

5. 保証期間

保証期間は納入後1年（特殊装置及び取り付け機材については各メーカーの公表した期間）とし、保証期間経過後においても、受注者の責めに帰すべき事由と考えられる瑕疵が生じた場合は、これを保証するものとする。

6. 主要諸元

(1) 全長	6. 0 m以下
(2) 全幅	2. 0 m以下
(3) 全高	2. 8 m以下
(4) 定員	6 名
(5) キャブ形状	全低床 キャブオーバー型 4 ドアダブルシート
(6) ホイールベース	2. 0 m以上 3. 0 m未満
(7) 駆動方式	4 輪駆動方式
(8) 車両総重量	7. 5 t 未満
(9) シャシ	日野 デュトロ、トヨタ ダイナまたはいすゞ エルフ
(10) 原動機	
ア 型式	ディーゼルエンジン
イ 最大出力	1 3 0 p s 以上
ウ バッテリー	2 4 V－1 3 0 A H 以上
エ オルタネーター	2 4 V 8 0 A 以上
オ 燃料タンク	6 0 リットル以上
カ オイルパンヒーター	シャシ標準規格品
(11) トランスミッション	MT
(12) タイヤ	スタッドレスタイヤを標準装着
(13) スペアタイヤ	ホイール付 1 本
(14) その他	シャシメーカーが公表する標準仕様とする。

7. シャシ及びキャブの艤装

- (1) シャシ及びキャブの艤装を行う場合、艤装品、装備品の重量配分を考慮して安定走行できるように艤装すること。
- (2) 油圧電動キャブチルト装置を装備すること。
- (3) 運転席及び助手席に電動格納式のパワーミラー（リモコン・ヒーター付）を装備すること。
- (4) キャブ内の床部にゴム製フロアマットを敷くこと。
- (5) キャブ内で 100 V 電源を使用できるようにすること。（取付位置は協議とする）
- (6) カーエアコンを装備すること。
- (7) 時計付電子チューナラジオを装備すること。（フルセグナビでの代用可）
- (8) フルセグナビ及びバックカメラを取り付けること。
- (9) 後部隊員席前方に握り棒を設け、自在フックを 6 個及び図面収納箱を 1 個取り付けること。
- (10) 天井は内張を行い、屋根上部に取り付けた電装品の保守点検が容易にできるようにすること。
- (11) 室内中央に LED 照明を設けること。
- (12) フロントグリルの中央部に指定する消防団マークを取り付けること。
- (13) ステップ類はアルミ縞鋼板を使用し、各ステップの端部周辺を折り曲げる構造と

する。サイドステップはフロントフェンダーまで延長する。なお、リヤーステップ左右両側にアルミ縞鋼板を張ること。

- (14) バッテリーは、点検整備が容易にできるよう引出式とし、コードは余裕のあるものとする。こと。(収納方式は協議とする)
- (15) 車両前後に外れ防止装置付けん引フックを設けること。
- (16) ドアバイザーは、プラスチック製を取り付けること。
- (17) 泥除けは、全輪に設けること。
- (18) 各操作レバー及びスイッチ類には、明瞭に識別できるようプレートを設けること。
- (19) 助手席及び後部座席の左右にマップランプ（LED）を取り付けること。
- (20) フロントガラス上部に取手を2か所設けること。なお、バンパーはサイドを延長し隙間を埋めること。
- (21) 各ドアのステップ蹴込部、ホイールアーチ部、リヤドア開口部にアルミ化粧板を張ること。

8. 主ポンプ

高圧3段タービンポンプ又は高圧2段バランスタービンポンプ（A-2級）

(1) 性能

- ア 主ポンプの性能は、日本消防検定協会の受託試験に合格したものとする。こと。
- イ 主ポンプは、あらゆる運転状態（回転、吸水、落差、放水量、ポンプ圧力）において異常な振動、異常音、漏水のない構造とする。こと。

(2) 材質

- ア 主ポンプの羽根車、ガイドベーン、ポンプケースは日本工業規格H5120とし精密に仕上げる。こと。
- イ ポンプ軸は、日本工業規格G4303、又は日本工業規格G4102とし精密な研磨仕上げを施し、軸受けは、重荷重ボールベアリングを使用する。こと。

9. ポンプ操作装置

- (1) ポンプレバーは、ポンプのドレンを同時に作動させる構造とする。こと。
また、作動確認灯（ランプ）を左右の揚水操作装置付近、及び運転席に取付ける。こと。
- (2) 揚水操作装置をポンプ室の両側に設ける。こと。

10. 真空ポンプ

(1) 型式

電磁クラッチ無給油式

(2) 材料

- ア 真空ポンプは日本工業規格H5120とする。こと。
- イ 真空ポンプ軸は日本工業規格H4051とする。こと。

(3) 性能

内径75mm、長さ10mの吸管を1本使用して試験を行ったとき、次の条件を満たす性能がある。こと。

ア 試験時の大気圧の84%に達する時間が30秒以内とする。

イ 漏気は30秒間に1.3KPa以下とする。

(4) 駆動装置

ポンプ室両側において行い、操作が円滑で、完全揚水と同時に水圧0.3MPa以下で自動的に停止すること。

(5) 真空ポンプは、凍結対策を十分に講じること。

(6) ポンプ用グリース注入及びエンジン冷却水加減弁等の操作が、迅速確実に行われるものとする。

11. 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は操作員が容易かつ安全にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有するものとする。

(1) 圧力計・連成計は凍結による不動・ゴミ混入による故障のないセンサーを用いた電子式とする。

(2) ポンプスロットルはリンク・ワイヤ固着トラブルのない電子式スロットルとし、スロットルの作動状態については、車両左右のポンプ操作装置に設けた自動調光機能付液晶ディスプレイに表示する。

(3) 車両左右の操作盤に設けた自動調光機能付多目的液晶ディスプレイは下記の表示ができるものとする。

モニタ表示	1. 各ボールロックの開閉状況 2. 揚水・ポンプ圧力計・ポンプ使用時間計をデジタル数値による表示。 3. 流水表示（ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況を表示、流量により表示色が変化） 4. 上記に使用されるセンサー故障の自己診断表示
取扱表示	機器取扱・点検整備・故障対策等の文書表示

(4) ディスプレイ内の各表示切替はタッチパネル式もしくはボタン式等により行えるものとする。

(5) 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作はボディ両側に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。

(6) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、次の安全機能を設ける。

①緊急減圧ボタン

左右操作盤にボタン式の緊急減圧スイッチを設け、ボタン作動時は即座にエンジン回転をアイドルまで下げ、水吐出圧力を減圧する構造とすること。

②スロットル固定機能

不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐようスロットル固定機能を設ける。ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できるものとする。

③自動調圧機能

吸水・放水条件に関わらず、車体左右の液晶ディスプレイ内にて予め設定された圧力を選択し、オートスロットルにて圧力を一定に保つこと。また手動にて任意の圧力

に上昇させた時点での設定も可能であること。

④高圧中継警報

自動調圧中に中継圧が高く、エンジン回転数をアイドリングまで下げても設定圧まで下げられない時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に高圧中継警告表示が点滅すること。

⑤低圧中継警報

中継水量が不足している時、ブザー音と共に液晶ディスプレイ内に低圧中継警告表示が点滅すること。

12. ポンプ動力伝達装置

- (1) ポンプ動力は、P.T.Oから取り出すこと。
- (2) 推進軸とポンプ等機器類の間は、両者が干渉し合わないよう十分な間隔を設けること。
- (3) ポンプ動力伝導軸は、日本工業規格G 4 0 5 1、ポンプ動力伝導歯車は日本工業規格G 4 0 5 2以上の強度のものとすること。
- (4) 各軸受けは、全て良質強固なボールベアリングとし、軸の外部へ貫通する箇所は潤滑油が漏洩しない構造とする。
- (5) P T Oがトランスミッションと分離した時は、エンジンの動揺が十分逃げられる構造とすること。
- (6) ポンプ室左右の液晶ディスプレイ付近にP T Oを作動できるスイッチを設けること。

13. 配 管

- (1) すべての配管は有効に排水できる構造で排水に要する時間が5分以内とし、振動に十分耐えられるようにすること。
- (2) 放水口は、ボールコック付6 5mm ネジ式とし、ポンプ室両側に各2個設けること。
- (3) 中継吸口は、ボールコック付6 5mm ネジ式とし、ポンプ室両側に各1個設けること。(鎖付キャップを取付ける)
- (4) 吸水口
 - ア 吸水口はボールコック付き7 5mm ネジ式とし、ポンプ室両側に各1個設け自在型吸管エルボを取付けること。
 - イ 吸水口にはそれぞれエゼクタを設け、揚水が確認できる構造とする。
 - ウ エゼクタは、標準放水試験条件において、ノズル口径2 6mm、ポンプ圧0. 5MP aで揚水を行った場合、ポンプ圧を0. 2 5MP a以上に維持し、かつ6 0秒以内に完了する性能を有すること。
 - エ エゼクタ配管は、シンフレックスパイプとすること。
- (5) 放水口、中継吸口、吸水口には、排水コックを取付け、コックは、できる限り左右各1箇所に集め、全て排水された水がシャシ等にかからない構造とすること。
- (6) エンジン、動力装置の冷却はストレーナーを通じて配管し、振動部には可きょう管を使用すること。
- (7) ポンプの通水面内には、防食処置を施すこと。ただし、銅及び銅合金部分を除く。

(8) ポンプドレンには、アンダーカバーを設けること。

14. 車体構造及び艀装

(1) 艀装に使用する材料は、日本工業規格 G 3 1 0 1 とすること。

(2) 車体の構造

ア 側板は 1. 6 mm 以上の鋼板で組み、上部周辺は溝型に折り曲げ、下部内側は山型鋼でボディに緊着し、後部に手摺りを設けること。

イ 点検口はできるだけ大きく開放できる構造とし、雨水等が浸入しない構造とすること。また、点検口はポンプ室上部及びポンプ室前面のキャブ側に設けること。

ウ ポンプ室の側板は密閉型とし、放水コックの修理に必要な箇所は取外しができるものとする。

エ 車体上部及びサイドステップ並びにリアサイドステップはアルミ縞鋼板を使用し、各ステップの端部分を折り曲げる構造とすること。サイドステップはフロントフェンダーまで延長すること。

オ フェンダーは 1. 0 mm 以上、サイドエプロンは 1. 2 mm 以上とすること。

カ 各操作レバー及びスイッチ類には、明瞭に識別できるようプレートを設けること。

キ 各操作レバー、ハンドル、その他の外部露出金属類には、良質のクロームメッキを施すこと。

ク 媒介金具はアルミとすること。

ケ 車体後部の左右フェンダー上部にアルミ縞鋼板を取付け、左右フェンダー脇をアルミで保護すること。

コ 車両側面へはしご式の足掛けを設けること。(取付位置は協議すること)

サ フェンダー及び収納箱等の下部下回りの鉄板接合部はコーキング等により防水処理を行うこと。

シ 付属品及び特別装備品を設置する装置を設けること。(取付位置は協議すること)

ス ホースブリッジ収納箱(カバー付)を設けること。(取付位置は協議すること)

セ 車両後部資機材収納庫内で 100 V 電源を使用できるようにすること。(取付位置は協議すること)

ソ 発電機を設置する装置を設けること。

(3) 車体後部

ア 吸管積載部

① 吸管の積載は、リヤフェンダーの後方両側に円形に巻いて積載し吸管止め金具は脱着容易な構造とすること。

② 吸管は、径 7 5 mm、長さ 1 0 m とすること。

イ 旗立金具

車体後部側面に旗立金具(火の用心旗用)を設けること。

(4) 車体上部

ア 梯子昇降装置を取付けてアルミ製二連梯子を積載すること。

イ 梯子固定装置はロック式とし、容易に開錠及び施錠が出来る構造とすること。

ウ 梯子固定装置の操作部は車両後方に設け、施錠状態が容易に視認出来るものとする。

ること。

15. 響音装置

(1) 電子サイレン

アンプは、電動サイレン及び警鐘の疑似音を発することができ、かつ拡声装置としても使用できるもので出力50w級とし、スピーカーは、前後向きに標識付赤色警光灯内に取付けること。(取付位置は協議すること)

16. 照明、灯火装置

(1) 照明灯

伸縮式を2基取り付けること。(取付位置は協議すること)

(2) 赤色警光灯

キャブ屋根前方に標識付赤色警光灯を設けること。

(3) 赤色点滅灯

ア 車体後部及び側部両側にLED赤色警光灯を取付けること。

イ フロントボディ部に設けること。(取付位置は協議すること)

(4) 路肩灯

両側面の適当な位置に路肩灯を設けること。

(5) バックライト

車体後方左右に取付けること。

(6) 作業灯

ア 各計器及び車体後部アルミシャッター上部にLED照明灯を設けること。

イ 車体側面上部の両側及び車体後部にLED作業灯を設けること。(取付位置は協議すること)

(7) 資機材格納箱の扉開閉と連動する保護枠付LED照明灯を取付けること。

17. 積雪寒冷地特殊機装

(1) ポンプ凍結防止の為、不凍液注入装置を設けること。

(カブラ式、キャップ付、2系統とする。)

(2) 各ドレーンコック等の配管径を6mm以上とし、積雪による破損防止処置を施すこと。

(3) バッテリーは寒冷地用とし、電装品の使用容量を常時確保するものであること。

(4) 路肩灯(LED)に積雪による破損防止の保護枠を設けること。

(5) キャブ室内へ暖房用ヒーターを取付けること。

18. 塗装

(1) 車体は十分錆落としのうえ、素地調整を行い、プライマー・パテ・サーフェイサー塗装し、熱風乾燥炉にて十分乾燥させること、朱色塗装を3回以上するものとする。(アクリルウレタン塗装)

(2) 車体下廻りは黒色塗装とする。

(3) 車体下廻り及び資機材格納箱に防錆塗装を行うこと。

19. 文字記入等

(1) 書体は、丸ゴシックとし、体裁よく配列すること。

ア、記入箇所、記入文字等は、次のとおりとすること。

記入箇所	記入文字等	色	記入方向
キャブ前部ドア両側面	町章		
キャブ後部ドア両側面	南部町消防団 南部第6分団	白	向かって左から記入
標識灯	南部6	黒	向かって左から記入
車体後部（シャッター部）	南部町消防団 南部第6分団	黒	向かって左から2行で記入
車両前面（助手席側）	南部6	白	向かって左から記入

20. 資機材収納の配置

- (1) ポンプ室上部及び車両後部に、資機材を収納できる可能な限り大きな収納庫を設けアルミシャッター式の扉を設けること。
- (2) ポンプ室上部の収納庫は資機材を車体左右から取出しができるアルミシャッター式の扉を設け、収納庫の底部はポンプ点検時に開放できる構造とすること。
- (3) 右サイドステップにはバッテリー収納箱（引出式）を設けること。
- (4) 全ての収納庫は、底部に樹脂板を敷き、また必要に応じて雨水が浸入しない構造とすること。
- (5) 車両右のポンプ室下部に扉付きボックスを設けること。また、ステップ兼用扉とすること。（ベースシャシの構造により設けることができない場合は不要とする。）
- (6) 車両上部及びキャブ上部に、可能な限り大きく、油圧ダンパーにより開閉可能な資機材収納箱（アルミ製）を設けること。
- (7) 車体後部資機材収納庫内（シャッター内、発電機横スペース）に W500×D500×H300mm程度の取り外し可能な収納箱（アルミ縞板製・取っ手穴付き）を取り付けること。

21. 無線設備

- (1) 室内用拡声器及びポンプ計器付近へ拡声器（スピーカー）を取り付け、受令機の音声を出力できるものとし、室内用とポンプ計器付近の拡声器の出力切り替えをできるようにすること。（取付位置は協議とする）
- (2) 消防デジタル無線受令機（支給品）を取り付けること。（取付位置は協議とする）
- (3) 移動系無線機（支給品）を取り付けること。（取付位置は協議とする）
- (4) 支給品の取り付けに係る配線については、発注者が支給するものとする。

22. ドライブレコーダーの設置

- (1) 記録方式は常時録画、衝撃録画、マニュアル録画とすること。
- (2) 2.5 インチ以上のフルカラーTFT 液晶とし、有効画素数は200万以上とすること。
- (3) 記録媒体は32GBで、GPS 機能付き。又ノイズ対策がされていること。

23. 検査

(1) 工場検査

製作工程中において必要に応じ行う。

(2) 予備検査

陸運事務所が行う新規登録検査の前に次の検査を行う。

ア 車両全般についての清掃状況

イ 装備の取付状況及び積載状況

ウ その他必要な検査

(3) 納入検査

発注者は新規登録検査完了後、発注者の行う次の検査を受けること。

ア 艤装検査

イ ポンプ性能試験

ウ 放水試験

エ 走行試験

オ 取付品、付属品検査

カ その他必要な検査

なお、完成車両は、日本消防検定協会が行う受託試験に合格したものとし、これに要する経費、納入にかかる費用（移送費等）及び指定ナンバー登録手数料は受注者が負担する。

受注者は全ての艤装が完了し、発注者の検収後、車検登録手続きをするものとする。

なお、次に掲げる費用は発注者が負担する。

① 車検登録手数料

② 自動車重量税

③ 自賠責保険料

④ 自動車リサイクル料

24. 消防ポンプ自動車納入先 南部町役場（指定する箇所とする。）

25. 納期 令和 8 年 3 月 25 日

26. ナンバー 「20-26」とする。

27. 資機材収納 別 紙

28. 特別艤装 別 紙

29. 取付品及び取付装置 別 紙

30. 付属品及び特別装備品 別 紙

31. 無線設備

別 紙

32. その他

シャシの新型化に伴い、仕様の反映のための検討が必要となる場合は、別途協議すること。

納入後の維持管理において、車両に不具合が生じた場合、早急に対応すること。

別紙

1. 資機材収納

No.	品 名	数量	備考（取付箇所他）
1	ポンプ室上部資機材収納庫	1 式	両面側：アルミシャッター式・保護枠付照明灯付（LED）
2	ポンプ室下部左資機材収納庫	1 式	ステップ兼用扉・保護枠付照明灯付（LED）
3	車体後部資機材収納庫	1 式	アルミシャッター式・保護枠付照明灯付（LED）
4	バッテリー収納箱	1 式	バッテリーは引出し式
5	資機材収納箱（アルミ製）	1 式	車両上部に計 2 か所
6	車両後部ボックス収納箱（アルミ縞板製）	1 個	W500×D500×H300（mm）程度 車体後部資機材収納庫内に設置（取っ手穴付き・取り外し可能なもの）

2. 特別機装

No.	品 名	数量	備考（取付箇所他）
1	両サイドステップ延長	1 式	
2	アルミ又はメッキ加工	1 式	触媒金具・レバー等 外部露出金属類
3	アルミ縞鋼板	1 式	フェンダー上部・各ステップ他
4	バッテリー管理機（過充電防止機能付）	1 式	車体後部左側 マグネットコンセント
5	昇降用梯子	1 式	車両側面（左側）

3. 取付品及び取付装置

No.	品 名	仕 様	数量	備考（取付箇所他）
1	ポンプ圧力計	電子式、透過光照明灯付	2 個	
2	ポンプ連成計	電子式、透過光照明灯付	2 個	
3	エンジン回転計	シャシ固有	1 個	キャブ内
4	エンジン油温計	シャシ固有	1 個	キャブ内
5	真空・揚水表示ディスプレイ	液晶画面内表示	2 個	
6	流量計	液晶画面内表示	2 個	
7	積算流量計	液晶画面内表示	2 個	

8	ポンプ回転計	液晶画面内表示	2 個	
9	ポンプ使用時間計	液晶画面内表示	2 個	
1 0	赤色警光灯 (パトライト製)	ALD-M1FYFR-RR-53N (標識灯を含む)	1 式	キャブ上部中央 (パトリンク仕様)
1 1	電子サイレン (パトライト製)	SAP-520FB(C)V (音声合成機能付き)	1 式	
1 2	リモートマイク (パトライト製)	SDM-10	1 式	
1 3	赤色点滅灯 (パトライト製)	LED 警光灯 LP3-M1-R	2 個	フロントボディ
		LED 警光灯 LP5-M1-R	6 個	車体側面上部両側
		LED 警光灯 LP5-M1-R	2 個	車両後部
1 4	作業灯 (パトライト製)	LED 蛍光灯 LP5-M1-W	8 個	車体側面上部両側 車両後部
1 5	照明灯 (佐藤工業所製)	フラッシュボーイ SP-Q15	2 個	右ポンプ室前方、後部左側に 各 1 個
1 6	路肩灯	保護枠付	2 個	車体両側

4. 付属品及び特別装備品

No.	品 名	仕 様	数量	備考 (取付箇所他)
1	不凍液注入装置		1 式	カプラー式
2	軽量吸管	75mm×10m	2 本	オーサカゴム製 LF-RS 同等品以上
3	吸口エルボ		2 個	YONE 製 AS-75SW
4	吸口ストレーナー	ポリ製	2 個	
5	吸管ストレーナー		2 個	
6	吸管ちりよけ籠	ポリ製	2 個	
7	吸管ロープ		2 個	
8	吸管スパナ		2 個	吸口付近
9	枕木		2 個	
1 0	消火栓媒介金具	呼称 75 メス径×呼称 65 差込メ ス	1 個	
1 1	中継口媒介金具	呼称 65 メス径×呼称 65 差込メ ス	2 個	
1 2	中継口キャップ	鎖付キャップ	2 個	
1 3	中継口ストレーナー		2 個	
1 4	放水口媒介金具	MC 吐水口媒介	2 個	YONE 製 AN-65MC 同等品以上
		MC スィーベル吐水口媒介	2 個	YONE 製 ANS-65MC 同等品以上

1 5	はしご	アルミ製 2 連 4.2m 以上	1 脚	車体上部（積載装置付）
1 6	マップランプ	10Wスイッチ付	3 個	L E D
1 7	可変噴霧ノズル		1 個	YONE 製 NV-65B 同等品以上
1 8	無反動管鎗	呼び 50	1 個	YONE 製 PL-50A 同等品以上
1 9	ガンタイプノズル	呼び 50	1 個	YONE 製 NH-50QF 同等品以上
2 0	消防団マーク		1 個	
2 1	車輪止め		2 個	
2 2	旗立金具		2 個	ポンプ室前部右側 ポンプ室後部左側 ※大隊旗が入る大きさであること
2 3	フローティングストレーナー		1 式	
2 4	分岐管	MC 分岐ボールバルブ	1 個	YONE 製 WB-65MC 同等品以上
2 5	差込異径媒介	YONE 製 呼称 65 差込×呼称 50 差込	2 個	
		呼称 50 差込×呼称 40 差込	2 個	
		呼称 50 差込×呼称 65 差込	1 個	
2 6	消火器	自動車用（ABC6kg 型）	1 個	
2 7	ホースブリッジ		1 式	大阪サイレン製 CB450 同等品以上
2 8	ホース（50mm×20m）	使用圧力 1.3Mpa	5 本	
2 9	ホース（40mm×20m）	使用圧力 1.3MPa	5 本	
3 0	ポンプ工具		1 式	
3 1	とび口	長さ：1.8m 材質：グラスファイバー	6 本	
3 2	発電機	HONDA 9i	1 式	
3 3	山林火災放水システム （岩崎製作所製 MUKADE）	管槍（YUMI-V26 MKD） スィベルジョイント ウォーターチャージャー 25×20mホース×2本 J Z 自在散水ノズル×2個 バッグ	1 式	
3 4	消火栓開閉金具	前沢式	1 個	
3 5	タイヤチェーン		1 式	
3 6	金てこ		1 個	
3 7	剣先スコップ		1 個	
3 8	おの		1 個	
3 9	掛矢		1 個	

4 0	ハンマー		1 個	
4 1	ドライブレコーダー		1 式	KENWOOD 同等品以上
4 2	可搬水送装置	ミニストライカー	1 式	
4 3	吸管	40 mm×4. 5m	1 個	軽可搬用
4 4	ポリカゴ		1 個	軽可搬用
4 5	ポリストレーナー		1 個	軽可搬用
4 6	管鋤	40 A	1 個	軽可搬用

5. 無線設備

No.	品 名	規 格	数量	備考（取付箇所他）
1	無線受令機	アンテナ付	1 式	移設：取付箇所別途協議
2	無線受令機配線		1 式	
3	移動系無線	アンテナ付	1 式	移設：取付箇所別途協議
4	移動系無線		1 式	
5	室内用拡声器		1 個	配線含む
6	ポンプ計器付近拡声器		2 個	車両左右。配線含む